

危険物 仮貯蔵
仮取扱い 実施計画書（例）

年 月 日

住所

届出者 氏名

電話

仮貯蔵（仮取扱い）の目的		震災等により被災地においてガソリン等の燃料が不足した場合に、災害復興支援車両等への燃料補給を行うことを目的とし、危険物施設以外の場所での一時的な貯蔵やドラム缶から手動ポンプ等を用いて金属製携行缶への詰替え及び車両への給油を行い、仮設の燃料供給拠点として利用する。				
仮貯蔵（仮取扱い）品名及び数量		第四類第1石油類（ガソリン） ○○リットル				
申請場所	地名地番					
	管理者氏名					
	敷地及び周囲の状況	別紙のとおり				
仮貯蔵及び仮取扱いに使用する建築物、工作物又は施設の状況	屋内	敷地面積	m ²	屋外	敷地面積	m ²
		建築面積	m ²		空地 その他	
		構造				
危険物の貯蔵、容器、及び取扱い、管理の状況		1 200リットルの金属製容器（ドラム缶）にて貯蔵する。 2 保有空地を○m確保する。 3 貯蔵場所と給油場所に○mの間隔を確保する。 4 高温になることを避けるため通気性を確保した日よけを貯蔵場所に設置する。また、取扱い場所において、危険物が長時間炎天下にさらされないようにする。 5 標識・掲示板を設置し、関係者に次の事項について注意喚起を行う。（「危険物仮貯蔵、仮取扱い所」「品名・数量・倍数」「火気厳禁」） 6 保有空地の周囲にバリケードを立て、空地を確保する。 7 敷地への出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。 8 作業前と作業後に点検を実施し、その結果を記録する。				
安全対策		1 ドラム本体、給油に使用するドラムポンプのアースを確保する。 2 危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者が行う。 3 危険物を取り扱う者は、静電安全靴を使用する。				
消火設備		第5種消火設備 粉末消火器○本				
危険物取扱者		住所 氏名				
その他必要事項		金属製携行缶による給油は、この場所以外で行わない。				

仮貯蔵・仮取扱い実施計画画書(ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い)

